

公表

放課後等ディサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等ディサービスAmi				公表日	2025年4月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動内容によってスペースを分けるしる人數の制限をするなどの工夫を行っている。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		個々の特性に対応できるように職員が連携を図り、職員1人に対し児童2名の配置をとっています。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	特性に応じて、環境整備をその時に臨機応変に配慮するように心がけている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		テーブルやドアノブは適時アルコール消毒、室内マットを定められた用法容量の次亜塩素酸ナトリウム溶液にて清掃し、清潔保持に努めています。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		状況や必要に応じて相談室を使用し状態環境を整えている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		個人目標シートを活用し適時振り返りを行っている。	非常勤職員も含めミーティングできる時間を増やしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		真摯に受け止めて企画の案を出している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			ケース会議の開始や、個別の面談他、職員間での意見交換共有が出来る時間を増やしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	弊社の他事業所と共に、第三者評価の導入を検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内で毎月事例検討会、研修会が行われています。	外部研修や勉強会に積極的に参加していく。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラム作成、公表を行政の指導に合わせて法令に基づき実施している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	6		放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目と5領域を含めて、モニタリング・アセスメントから計画作成を行っている。		
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員・保護者と情報共有を行い、成長、課題に合わせた計画作成に努めている。 ・個人の支援経過記録を毎日行い全職員が児童の現状を把握している。		
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		同意を得て作成した放課後等ディサービス計画の内容を、職員間で共有して支援内容に活かしている。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメントの内容と、成長に適応しているか日々の様子から判断しながら、確認し共有している。		
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」と「5領域」を踏まえ、本人の課題と保護者様の要望もくみ取り、職員間で共有して毎回の支援内容に活かしている。		

公表

放課後等ディサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等ディサービスAmi				公表日	2025年4月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		職員同士で連携を図り、プログラム内容や領域が連日とならないよう工夫している。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・利用日の児童全員の変化や様子を記録として毎日支援経過を作成している。 ・業務日報や口頭での引継ぎのてつてを行い共有している。	支援終了後は清掃や個人の支援経過記入、ブログのアップ作業などがあり口頭での情報共有は翌朝の申送りで行っている。特記事項がある時はすぐに打ち合わせを行っているが毎回ではないので出来るだけ当日の振り返りを口頭でも行っていく。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
	24	放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6				
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1			
	30	学校を卒業し、放課後等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		・現在障害福祉サービス事業所などへ移行された児童がいないが今後卒業され他児童からの情報共有を行っていきたい。 ・今後の卒業時に対して事前から現在障害福祉サービス事業所と連携を図れる体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	1		現状、地域の子ども達との活動する機会は少ないがイベントや課外活動などで取り入れていきたい。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		毎月1回は参加できるように努めているが業務の関係上欠席する時もあるので今後は業務調整を行い必ず参加出来る様にしていきたい。	

公表

放課後等ディサービス事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等ディサービスAmi				公表日 2025年4月30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		電話、連絡帳などでの細やかな情報共有を行う努力をしている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		複数名の保護者との相談が出来る様に定期的に座談会開催を行う、個別での相談を随時受け入れられるような体制作りをさらに整える。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約の際、保護者様と書面の読み合わせを実施している。質問には、適切にお答えできるように努めています。	
	37 放課後等ディサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		本児はもとより保護者様も気軽に相談いただける信頼関係構築に努めています。	
	38 「放課後等ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等ディサービス計画の同意を得ているか。	6		モニタリングやアセスメントを行い同意を得て放課後等ディサービス計画を作成いたしております。	ご家族様のお仕事の関係上、作成後にお手渡しできる機会が少ないので今後は時間を調整しお手渡しできるように努めています。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要な情報共有や事業所で実践している支援方法などをお伝えしている。 ・個々に助言やご相談に対応いたしております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			定期的に座談会を開催し保護者さん同士の関われ場の提供、兄弟や保護者様が参加出来るプログラムの立案を行う。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			ご質問やご意見をありがたく受け止め今後も対応を行っていく。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			毎日活動の様子をブログ配信しております。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			鍵を施錠した書庫に保管しており、鍵の管理は児童発達支援管理責任者がしている。
非常時等の対応	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		スケジュールの視覚化、環境の構造化を取り入れ誰にでも分かりやすい活動空間にする事で適切な行動を促すタイムタイマーやカームダウンスペースの設置。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		行事などに招待する様な機会はなかったが今後Ami祭りといったイベントで交流できるようにするなど検討したい。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			各種マニュアル策定し職員間で周知しているが家族様には説明不足の為今後は周知して頂ける様に努める。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間計画に基づき行っています。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		フェイスシートやアセスメントにより情報共有を行い変更時はその都度共有している。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		年に2回のアセスメントの他変更時はご家族様から報告をいただき全職員で周知しています。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスAmi					公表日	2025年4月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		1日1ひやりをあげ事故にならないように検討会を行っている。			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6					
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6					